



初めてラケットに触れる生徒たちとラケットとシャトルを使って授業ができた時は感動の一言。普段日本で当たり前のように器具が揃っており、それらを利用できることがどれだけ幸せなのか身に沁みました。

生徒たちは、バドミントンを知りません。教えるにも工夫が必要ですが、まずは皆にラケットを使ってシャトルを打つ楽しさを伝えました。コロンビアでは男女問わず、積極的に体を動かすことが好きです。もちろん授業はバドミントンだけではなく、いつもバドミントンをやりたいと言います。

これからが楽しみです!!

バドミントン授業

バドミントンの授業を始めようとするも、ラケット、シャトル、ネットがない……。そんなのが当たり前。活動内容がバドミントンなのに、バドミントンの用具がない時、どうしますか??

私の場合、初めは段ボールと棒でラケットを作り、新聞紙を丸めシャトルを作りました。半年間それで行い、学校と事務局と話し合い、ラケットとシャトルを購入することができました。

初めの頃は、信じられませんでした。こんなのが当たり前と思わないと途上国では活動できません（笑）



派遣先 コロンビア共和国

青年海外協力隊

平成 28 年度 2 次隊

職種:体育 恩田 健人



コーヒー豆 ぶどうの様な色をしています

コーヒー豆栽培

私の住んでいる町は、コーヒーがとても有名という事で、休みを利用してコーヒー豆の採取へ。

コーヒーがどのようにしてできるのか一から説明してもらい、とても貴重な体験ができました。



先生たちもバドミントンを体験



踊るのも運動の一つ



イベントに参加する先生

スポーツイベント

私の職業訓練校では、数か月に一度、先生と生徒と一緒に身体を動かすイベントがあります。このイベントは日頃の勉強の疲れをリフレッシュするために行われます。

生徒が考えた運動のアイデアを取り入れ、生徒が開催する立場となっています。先生たちも、運動や踊りに夢中です。